

歴史の遊歩道コース

幾つもの時代を経てなおわたしたちに静かに語りかけてくれる貴重な文化財に出会えるコース。自然の美しさと相まった荘厳な景観が望めます。

田村堂
スタート
ゴール
波田神社
阿弥陀堂
仁王門



仁王尊・仁王尊股くぐり祭 元禄4年に西光寺が廃寺となった際、仏像等の散逸を危ぶんだ地元の人たちの手によりここに移され、以後仁王門は若澤寺の山門となりました。仁王門には阿味一對の金剛力士像が立ちだかかります。扉宝にも指定されています。仁王尊は子供のハシカの厄除けに靈験があると伝えられ、毎年4月には「仁王尊股くぐり祭」が行われ、親子連れで賑わいます。



波田城跡

若澤寺跡 江戸時代には「信濃日光」ともいわれ、その景観や寺観は近在はもとより、遠く江戸にまで知られた若澤寺。全国からの参詣も多く、東海道中膝栗毛で有名な十返舎一九も訪れています。残念なことに、明治初年の廃仏毀釈により取り壊され、今では寺跡とわずかな石仏が残されているだけ。

若澤寺跡
長祿の参道供養碑

盛泉寺
水沢観音堂
線彫り石六地藏



夫婦堤



瑞泉寺 松本市本源、瑞松寺の末寺。瑞松寺が明治の廃仏毀釈で廃寺となりその後、再興されるまでの間は、瑞松寺の本寺である美濃国下有地村(岐阜県関市)竜泰寺を本寺とし、山内の水沢観音は信濃三十三所第二十五番の札所霊場、七福神めぐり(布袋)として知られています。寺伝によれば、草創は天文21年(1552)神林の地頭常和泉殿の建立慶長年中、松本瑞松寺二世柏鷹正庭の開山と伝えられており、古い枝垂桜と鐘樓堂の春の姿は絶景です。

歴史の遊歩道コース情報

距離 約5.2km
時間 約1時間20分
(寺院見学の時間は含みません)

健脚度	♥♥
自然度	♥♥♥
景観度	♥♥♥



波田城跡入口



若澤寺地蔵



若澤寺の石垣
若澤寺跡